市議会議員
おのざわ康弘の
活動報告
ひげ通信
2010
No.28

発行日 10-04（発行責任者 スピリット50 小野澤康弘） 原田定明、小島治樹 小仙波町 5-15-3 吉田 715-16 TEL049(232)5789 TEL049(231)4850

３月議会報告 一般会計９４１億円　特別会計７２３億円

早いもので、川合市長が誕生してから二年目の川越市議会三月定例議会が二月二十三日から三月十九日の日程により開催されました。川合市長にとっては初めての骨格予算及び政策面も含めた二十二年度当初予算を中心とした議会でありました。本市としても新内閣による新たな目玉施策である、扶助費に該当する「子ども手当」の計上ならび、年々増加する生活保護費等の扶助費が昨年の１５６億円から２１５億円と約３０％増加となり、目を引くところであります。

市民税減収により交付税不交付団体から交付団体へ

また、歳入でありますが、市民の方々から納入していただく肝心の個人市民税が予算ベースで昨年の２１４億９６００万円から２０４億６２００万円と１０億３４００万円の減額、更に法人市民税も４３億８１００万円から３７億３０００万円と６億５５００万円の減額となり、合わせて約１６億９０００万円が減額される状況となります。しかしながら昨年可決された都市計画税の税率改正や各種補助金や職員数の削減、及び職員手当等の見直しなどによる人件費の減少など、行財政に係わる改革に着手し始め、成果を出されている川合市長に対しまして、我が会派としては評価するものであり、議会の議案に対しては、原案に対して全て賛成いたしました。（詳しくは2P参照）

また、前に述べた歳入の根幹である市税の減収などによる一般財源収入が減額し、一方では義務的経費である扶助費（扶助する為の費用）が大幅に増加する見通しであるのは間違いなく、前年度にも増して厳しい財政となるのではないかと思います。私達議員も議会の改革も含め、より良い市政の為、市民の負託にこたえ、議員の定数のあり方などの議論も盛り上げるべきであろうと我々の会派でも考えております。

市民に開かれた議会を！

３月議会より、川越市議会の模様がＪＣＮ川越（川越ケーブルＴＶ）により録画による放映が、議会開会初日、本会議議案質疑、最終日と決められた日程の中で開始されました。市議会の放映については、市民の方々から川越市議会に対して以前より強い要望があり、開かれた議会を目指して欲しいとの指摘をいただいておりました。川越市議会運営委員会（小林薫委員長、小野澤康弘副委員長、他各会派選出１０名の委員）では、市民の意見や各会派の考え、意向もふまえ、問題点の抽出や課題等を出し合い議論を行ってまいりました。今議会では、全会派のご協力を得て、一致した考えにより今後の課題も含め試行という形で放映の決定をいたし、議会事務局の職員の方々のご協力を得て放映する事が出来ました。私は、市民の方々の要望に対して時間を費やしたものの、この放映に対しては各会派や議会運営委員の皆さまのご協力を得て議論が進み、実現された事に大きな評価をするものであります。また更に問題点や課題についてもまだまだありますが、改善できることを期待いたします。

２月２６日本会議質疑　３月６日ＴＶ放送

主な議決案件

三月定例議会の主な議案
（二月二十三日～三月二十日）

主な議決案件

条例の制定について　（原案可決）　一件
条例の全部改正について　（原案可決）　一件
条例の一部改正について　（原案可決　一部異議有）　八件
条例の廃止について　（原案可決）　一件
指定管理者の指定について　（原案可決）　二件
包括外部監査契約について　（原案可決）　一件
請負契約について　（原案可決）　一件
裁判上の和解について　（原案可決）　一件
道路線の認定、廃止について　（原案可決）　七件
平成二十一年度補正予算　（原案可決）　九件
平成二十二年度当初予算　（一部反対討論及び異議有、原案可決）　十一件
議員提出議案　（原案可決）　一件
請願　（継続審査）　一件

詳しくは議会だよりを参考に

主な議案から

今議会に上程された議案四十六議案は全て原案可決されました。また、厚生常任委員会に付託された請願二件については継続審査となり次回の委員会で改めて審査を行う予定です。

会派代表本会議質疑

平成二十二年度一般会計予算について　会派代表　小野澤 康弘

（歳入について）
○市長の予算編成方針3重点施策について
○普通交付税、財政力指数の今後の見込み

（市債について）
○○臨時財政対策債について
○○一括交付金について

（歳出について）
○扶助費について　子ども手当、生活保護の伸び率
○○小江戸川越マラソン大会について
○○文化事業の推進に対する市長の意気込みについて
○○焼却灰等再資源化について
○○川越市のかかえている都市計画事業の総事業費について
○県道川越越生線整備事業について
　西部地域振興ふれあい拠点整備について

主な事業と予算

総務費
・庁舎建設基金積立
・第三次川越市総合計画後期基本計画策定
・鉄道整備改善対策
・小江戸マラソン大会
・民間福祉施設補助（特養施設）　2億3000万円
・地域密着型施設建設補助（グループホーム）　1億1500万円
・子ども手当　56億3000万円
・保育所建設費補助　5億6000万円
・子供医療費支給　6億2000万円

衛生費
・霊安室保冷庫増設工事
・斎場整備推進　4億700万円
・予防接種推進　2億6300万円
・妊婦健康診査
・焼却灰等再資源化　2億900万円
・資源化センター管理　8億1000万円
・西清掃センター跡地整備　8500万円

商工費
・中小企業関連融資　17億8000万円

土木費
・県道川越越生線整備　4億9000万円
・本川越駅周辺地区整備　4億3000万円
・中央通り地区整備　3億3000万円
・伊佐沼公園遊具なぐわし公園整備　4000万円
・新河岸駅周辺地区整備　1億8000万円
・生活道路（市道）改良　5億9700万円
・橋りょう維持（びわ橋）　3億9600万円

教育費
・旧霞ヶ関北小学校体育館解体　8000万円
・教育センター開設
・さわやか相談員の配置

課題と評価

平成二十二年度予算を見ると歳入での減収の割には歳出について主な事業ではかなり広拡的に予算が配分されているところは評価いたします。特に市長のマニフェストにかかわる予算配分も行われており、政治姿勢が感じられます。また、市長の最重要課題である新斎場建設についても時間が必要とする中で、市民が葬祭の折にご遺体の安置に苦慮されている現実からやすらぎの郷の霊安室の増設の必要性を私が指摘したところ予算を付された事も大きな評価をしたいと思います。今後の大きな課題としては税収減収対策と事業については川越駅西口周辺問題も含め都市計画事業を分散型にするのか、国からの借入も含め集中型にするのか、市長が任期中にどこまで行うのか明確にすべきと思います。

おのざわ康弘 プロフィール

昭和二十九年三月十三日
川越市小仙波町生れ
川越市立第一小学校
川越市立第一中学校
埼玉県立川越工業高校
東洋大学大学院
工学研究科
（建築学専攻）修士
現職　川越市議会議員　2期
議会運営委員会　副委員長
建設常任委員会　副委員長

私の議会質問

行政の情報は市民の共有財産である

ＪＲ川越線と沿線の課題について

今回の一般質問は市民の方々が日頃利用しているＪＲ川越線沿線の課題について、市の見解や整備に向け要望も含め質問を行い、問いただしました。

平成二十一年三月十四日のＪＲのダイヤ改正によりＪＲ川越線のダイヤが大幅に変わり、通勤通学の市民の方に大きな負荷が生じました。具体的には、川越以西から大宮方面へ行く場合、川越駅での乗換え時間がダイヤ改正前は平均３．９分待ちからダイヤ改正後は６．７分待ちとなり約３分間の待ち時間の増加となりました。よって、高麗川から大宮までがダイヤ改正後は以前より８分以上時間がかかります。ＪＲ東日本ではスピードアップを至上課題として湘南・新宿ラインなどは秒単位の短縮を図っていますがＪＲ川越線の状況はその逆であり、市民の皆様に不利益を来たしていると感じております。また、平日２２時４４分から２３時２５分までの４１分間、更に次の０時１３分までの４８分間と長い待ち時間があります。その間大宮から川越駅に到着する本数は２２時台が５本、２３時台が５本、０時台が５本あり、いかに川越以西の利用者が不便か理解をしていただきたいところであり、市の受止め方とＪＲ東日本の見解をただすところであります。また、沿線の課題として取り上げたのが**ＪＲ的場駅北口問題**であります。本市の総合計画では東武東上線霞ヶ関駅周辺が「地域核」と位置づけられ、的場駅周辺は「地域活動ゾーン」となっています。更には都市計画マスタープランでは的場駅周辺は日常生活の拠点となる機能が備わる「生活核」として位置づけられています。その様なことから日頃生活者が駅を利用する為の改善策や、その計画の考え方を含めたまちづくりをＪＲ沿線に置き換え、特に的場駅の北口からの駅利用方法などの改善策を提案も含めて一般質問を行いました。

【質問骨子】

①　市の交通政策は、どの様な事を基本に考えているか。

②　市民にとって利便性を向上させた相互運転の経過と今後の予定

③　ダイヤ改正には問題点が多いが、市はどのように受け止めているか。またＪＲの見解は？

④　ＪＲ川越線の利用者の動向

⑤　地域の活性化に果たす鉄道の役割はどう考えているか

⑥　都市計画マスタープランにおいての的場駅周辺の位置付け

⑦　市はＪＲ川越線をどの様に位置付けているのか

⑧　駅を中心としたまちづくりの考え方を明確にする必要があると思うがどうか。

⑨　的場駅周辺整備を進める上で何か問題があるのか、問題も含めてどの程度時間がかかるか。

⑩　地域の利便性を考えた場合、跨線橋の設置なども視野にいれた対策が必要ではないか

⑪　ＪＲ川越線沿線の市民が抱える問題点について市長が先頭に立って改善に向けた取組みをすべきではないか。

総合政策部長答弁

的場駅につきましては、基盤整備が進まないと駅舎の橋上化は難しく、したがって、北口の開設も進捗しないと言えます。その間地域住民の皆様にご不便をかけてしまうわけでございますが、当面の利便性の確保策として跨線橋を検討することにつきましては、ひとつの解決策と考えられますので、ＪＲ川越線整備促進協議会を通じてＪＲ東日本と協議するなど、今後検討していきたいと考えております。

市長答弁

ＪＲ川越線につきましては、ご指摘の様に単線のままで、東武東上線、西武新宿線と比較しますと見劣りがするものがございます。また川越駅で東西に分離されてしまった様な電車の運行形態になっておりまして、地域のバランスの取れた発展を進める上で川越駅以西には大きな課題があるという風に認識しております。今まで議論されていた様にＪＲ川越線の駅を中心としたまちづくりに関して具体的な構想が無いと、そういう状況でありますので、市といたしましてはなるべく早い時期に構想を作り上げつつ、ＪＲに対する働きかけを強めたいと考える次第であります。

川越市政のココに注目！

川越市資源化センター（新清掃センター）四月より稼動！

三月二十八日、川越市資源化センター（新清掃センター）が完成し、竣工式典が無事行われました。いよいよ四月一日より1日265tの量で市民の皆様のゴミの焼却処理が開始となります。約二十年以上の歳月をかけたこの川越市最大級の事業は地元地権者のご協力はもとより、たくさんの関係者の結集により完成したプラントであります。私達地元議員としても力を合わせ安全性確保の為、最良のプラントの選定から契約にいたるまで、新清掃センター対策委員会顧問としてもしっかりとした監視役として係わってまいりました。最終的には熱回収施設の発注引渡を前に15項目の引渡性能試験報告も市側から受け、すべて基準値内に納まる合格の判定を確認いたしました。（排ガス値については市のホームページ公表）

3/28 川越市資源化センター竣工式

地元新清掃対策委員会、環境部、新清掃センター建設事務所職員の皆様、ご苦労様でした。

※今後については川越市資源化センター生活環境保全協議会の設置により資源化センター稼動に伴う生活環境への影響、センター稼動状況の監視などを行います。

川越市霞ヶ関北公民館検討懇話会が設置されました。

私と旧霞ヶ関北小学校問題とのかかわり

平成十五年五月に市議となった当時、旧霞ヶ関北小学校はすでに移転が終り、前年度の議会では旧霞ヶ関北小学校跡地は一部売却の議決がされ売却が決定されていましたが、当時議員となったばかりの立場ではありましたが、地元の方々と共に売却には強く反対の意志を示し、当時の舟橋市長に政策の転換を求めました。

すでに数年が経過して行く中、霞ヶ関北公民館の老朽化による移転要望も含め、新しく旧霞ヶ関北小学校跡地利用について川合市長の方針転換により地元の方々と協議を行い、今回懇話会が設置される事に大きな評価をいたします。また、私も地元議員と共に検討懇話会委員に選任された事に誇りとやりがいを感じます。

検討懇話会委員として地元市議
小野澤 康弘 議員
片野 広隆 議員
桐野 忠 議員

新清掃センター周辺道路完成

資源化センターにかかわる
鯨井中学校隣接道路歩道整備が完了

3/27 平塚橋から北環状線へぬける
市道2506号線が開通しました

川越の彫工 野本民之助義明氏をご存知ですか？

3/29 銘板の前にて

彫刻師として数多くの作品や下絵を残し昭和三年に三十六歳で生涯を終えた野本さんの作品にご縁があり、お手伝いさせていただきました。

昨年、暮れも押し迫る十二月二十一日、旧市内久保町のお不動さま（成田山川越別院）に、丁寧に彫りぬかれた彫刻のあるお稲荷様が日清紡績工場から移設されました。

お不動さまの山門や本堂を見上げると、とても華麗で迫力に満ちた見事な彫刻がほどこされていることに皆さんお気づきでしょうか？数々の作品の一部とも言えますが、この彫刻が野本民之助義明氏の作品なのです。私は平成十五年に著者小坂部佳代さんが発行された本で記憶があり、今回、お稲荷様が解体の危機にさらされていることを文化財保護協会の吉野会長から聞き、会長と共に成田山別院の主監である石井照典氏に相談をもちかけたところ、快く移設にご協力をしていただきました。話しはとんとん拍子に事が進み平穏無事に暮れのドラマが終了し、二十九日由来を記した銘板が設置されました。

12/28 市長と小坂部佳代さんの会見
（野本民之助義明氏の長女）